

防犯わかやま

令和8年4月



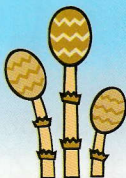
©SUSUMU MATSUSHITA ENTERPRISE
防犯マスコット「CPくん」

編集発行所

・公益財団法人
和歌山県防犯協議会連合会
(略称：県防連)
・和歌山県風俗環境浄化協会
和歌山市八番町9番地
パーク県信ビル411号室
電話 (073) 436-1175

印刷所 南海印刷所

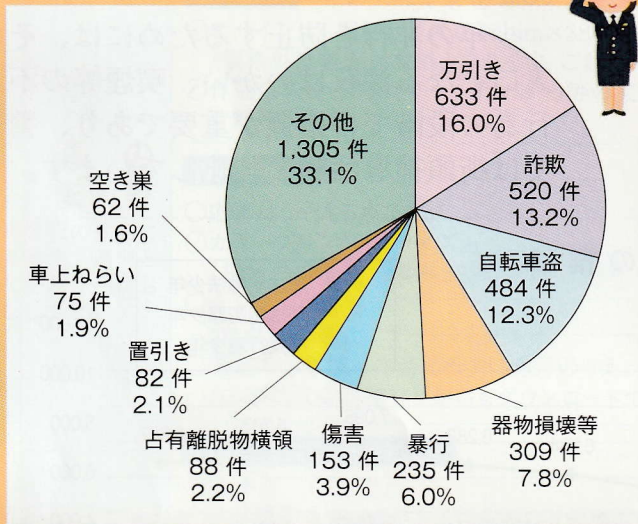
◆(公財) 和歌山県防犯協議会のホームページでも本紙を掲載しています。



和歌山県の犯罪



犯罪発生件数は減少



令和7年中に県下で認知した刑法犯は3,946件で、前年より116件減少しました。ひとえに県民の方々の防犯意識の向上、関係機関や自主防犯ボランティア団体の各種取組、街頭防犯カメラの普及などによるところが大きいと感じています。

安全で安心な和歌山県をつくるためには、警察や行政機関、防犯ボランティア団体の連携は勿論のこと、何より県民の皆様の御協力が必要です。家から外出する時、自転車を駐輪する時、駐車した車から離れる時は鍵をかけるなど、何気ない普段の生活から防犯の意識を持っていただくようお願いします。

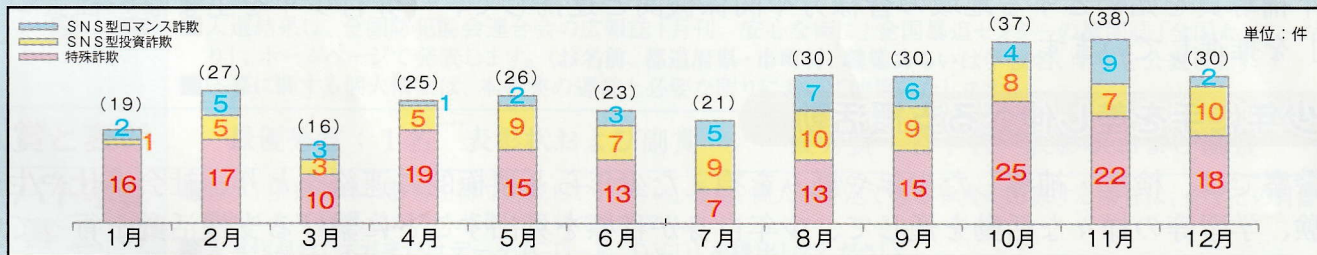


カギかけは防犯の第一歩

特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺件数が増加

令和7年中の県下の特殊詐欺被害は190件、被害額は約11億1,800万円でした。前年に比べ、56件増加しており、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害は132件、被害金額は約11億7,100万円です。危機的な状況が続いています。

令和8年も依然として、県下においてニセ警察官による電話、SNSを利用した投資や恋心などを逆手に取るような犯人のアクセスが続いていますので、県警が配信している防犯情報をみんなで共有して被害に遭わないようにしましょう。



特殊詐欺被害防止
専用ダイヤル

これは わなや
0120-508-878

県警防犯X



防犯メール



けいさつからの防犯情報
など色々配信されるよ。
登録してね。

お読みになったら
ご近所へ回覧を!

回覧

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和7年の少年非行

刑法犯犯罪少年180人、刑法犯触法少年115人の計295人を検挙・補導

(刑法犯犯罪少年：刑法に定める罪を犯した14歳以上20歳未満の者)
(刑法犯触法少年：刑法に定める罪に抵触する行為をした14歳未満の者)

★少年の犯罪状況

令和7年中に検挙した刑法犯犯罪少年は180人で、前年に比べ63人減少しました。

刑法犯触法少年は115人で、前年より32人増加しています。

刑法犯検挙者に占める少年の割合は11.1%で、前年より減少しています。

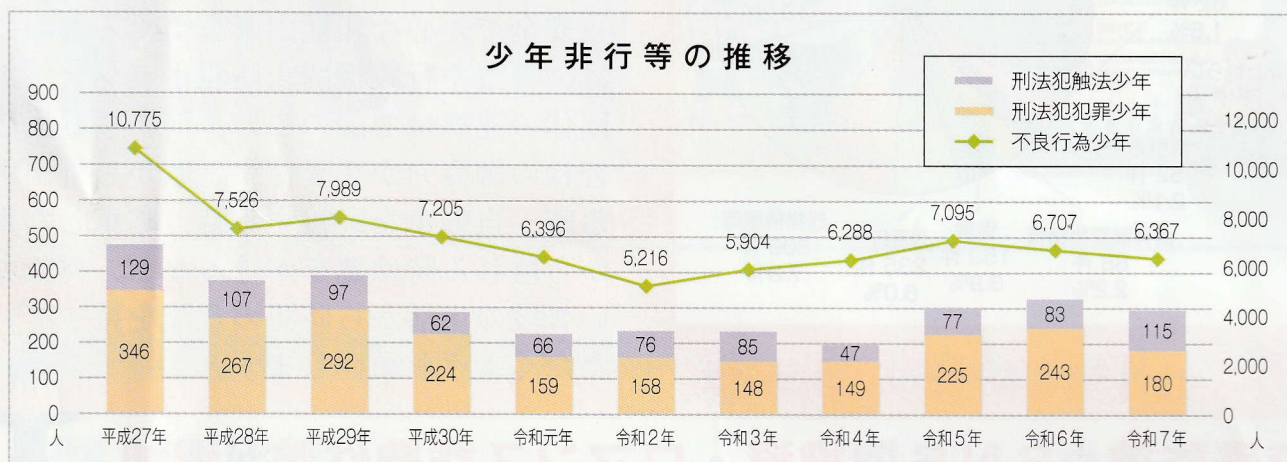
刑法犯犯罪少年の再犯者率が29.4%となっており、非行を繰り返す少年の割合は、前年より減少しています。

★不良行為少年が増加

令和7年中の不良行為少年は、6,367人で、前年に比べ340人減少しました。

行為別では、「深夜はいかい」と「喫煙」の割合が依然として高く、全体の95.2%を占めています。

少年の非行を防止するためには、その入口となる深夜はいかい、喫煙等の不良行為の段階での措置が重要であり、警察では街頭補導活動を強化しています。



★非行少年を生まない社会づくりの推進

少年非行の背景には、少年の規範意識やコミュニケーション能力の低下、孤立など様々な理由があり、少年を取り巻く環境が大きく関係しています。

少年の健全育成のためには、これらの問題に対して社会全体で取り組む必要があります。警察では、少年補導員を始めとする地域の皆様方や関係機関と連携して、「非行少年を生まない社会づくり」を推進しています。



★少年に手を差し伸べる支援活動

警察では、検挙・補導した少年や悩みを抱えた少年らと積極的に連絡を取り、社会奉仕や生産体験、学習等の様々な活動を通じて、少年自身が目標を見出すことに繋げる支援活動を行っています。活動は、少年補導員や学生サポーターなどのボランティアや有志の方々の協力を得て、立ち直りや健全育成を支援しています。

★サイバーパトロールの強化

インターネット利用をきっかけとした少年の性被害や薬物乱用が深刻化しており、これらを未然に防止するため、ネット上におけるサイバーパトロールを強化しています。

ポスター・青パト写真・標語を募集します!

課題	ポスター	① 様々なかたちの防犯ボランティア活動 ～防犯ボランティアの裾野の拡大と活性化を目指して～
	青パト写真	② 青色回転灯等装備車の活躍
	標語	③ 暴力団のいない社会づくり
応募資格	問いません。	～昨年の作品例です～
応募の まじり のり (未発表の作品に 限ります。原則と して応募作品はお 返ししません。)	応募作品の裏面に、住所、氏名(フリガナ)、年齢、電話番号、職業または学校名、学年を明記してください。	■ポスター 様々なかたちの防犯ボランティア活動
	<p>ポスター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デザインは、四切サイズ(540mm×380mm)のヨコ描き。(規格外は審査対象外となります。ご注意ください) ○作品にスローガン(キャッチコピー)等の文字は入れないでください。 	
	<p>青パト写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ○応募は、一人5点まで。 ○カラープリントA4サイズ。(規格外は審査対象外となります。ご注意ください) ○デジタル写真可。(ただし印画紙にプリントしたもの) ○所定の応募票を作品のウラに貼付のうえ、郵送で応募。(応募票は全防連HPからもダウンロードできます) 	<p>■青パト写真</p> 
<p>標語(キャッチコピー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○応募は、一人1点。 ○郵便はがきか、はがき大のものにタテ書きで、一枚の用紙に1点のみお書きください。 	<p>■標語</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無くそう暴力団 地域のために 未来のために ○ひとりじゃない みんなで追放 暴力団 ○許しません 詐欺闇バイト 暴力団 	
送付先	〒640-8157 和歌山市八番丁9番地 パーク県信ビル411号室 公益財団法人 和歌山県防犯協議会連合会	
締切り	令和8年6月5日(金) 必着	
入賞決定と発表	<p>■最優秀作品等を使用した全国地域安全運動向けポスター等を作成し、全国各地に広く掲出します。(お名前と都道府県名を掲載します。)</p> <p>■入賞作品の著作権は全国防犯協議会連合会に帰属します(ポスターの他チラシ、カレンダー等を作成します。)</p> <p>■入選結果は、全国防犯協議会連合会の広報誌「月刊 安心な街に」全国暴追センターの機関誌「全国センターだより」、ホームページで発表します。(お名前、都道府県・市町村、職業あるいは学校名、学年を公表します。)</p> <p>■応募に関する個人情報、本事業の運営上必要な限りにおいて使用いたします。</p>	
入賞と表彰	最優秀賞：1名 表彰状および副賞 / 優秀賞：若干名 表彰状および副賞	
青パト写真 応募上の 注意	<p>■青パト所持団体の許可を得て応募してください。また、個人を特定できる写真で応募する場合は、必ずその肖像権等について応募者が本人に許可を得てください。</p> <p>■入賞作品は、ネガまたはデータ(CD-R、DVD)を提出してください。</p> <p>■デジタル写真作品とアナログ写真作品は区別せずに審査いたします。</p>	
主催	(公財)全国防犯協議会連合会 全国暴力追放運動推進センター 警察	(公財)和歌山県防犯協議会連合会 (公財)和歌山県暴力追放県民センター 和歌山県警察

「きしゅう君の防犯下敷き」作製・配付事業

県防連では、和歌山キワニスクラブ様と和歌山くろしおライオンズクラブ様の協賛で、警察本部生活安全企画課の協力のもと、防犯意識を身につけてもらおうと、防犯上の心構えなどが記された「きしゅう君の防犯下敷き」を作製し、毎年、県内の小学校に1年生として入学する全児童を対象に配付させていただいております。

本年もこの事業の実施に先立ち、2月20日（金）紀の川市貴志川町の「あおば幼稚園」において関係協力団体の皆様方のご臨席を得て、贈呈式を開催いたしました。



寄付型自動販売機設置のお願い

県防連では寄付型自動販売機「安全安心わかやま支援自動販売機」の設置企業・団体様又は個人様を募集しています。

飲料の販売手数料収入から一定額を寄付していただくというものです。

この寄付金は、各種犯罪予防活動等に活用いたします。



賛助会員募集中

県防連では、「みんなでつくろう安心の街」を合い言葉に、犯罪知識の普及など総合的な地域安全対策に取り組んでいます。

この趣旨に賛同いただける「賛助会員」を募集しています。年会費は1口 5,000円からです。

新賛助会員のご紹介

(本年、2月末現在)

- 和歌山市 有限会社成介 様
- 和歌山市 田中 宣人 様

県防連への寄付及び賛助会費については課税優遇措置の対象となります。